

vol.51
臨時号
2016.4.3

私たちの くらしと水

くらしを守り続けて100年

宇都宮市上下水道局

検索



宇都宮市は
水道100周年
下水道50周年
を迎えました

～次の100年・50年に向けて～



今市浄水場(上)と下河原水再生センター(下)



臨時号特別プレゼント企画!!

30名様に

新デザイン

本冊子へのご感想や料金のご質問などをお寄せくださった方の中から

**「上下水道局オリジナル着せ替えタンブラー」
&「エコたわし」セットをプレゼント!**

▶タンブラー
3パターンに
着せ替えできるよ



ハガキに「お名前」「ご住所」
「ご職業」を明記してください。 〒320-8543 宇都宮市河原町1番41号
宇都宮市上下水道局 経営企画課 「広報紙」係

※個人情報、プレゼントの発送以外には使用しません。
いただいたご意見・ご感想・ご質問などは個人が特定でき
ない情報として、紙面掲載させていただく場合があります。

締切

平成28年5月6日(金)必着

▶エコたわし



上下水道局マスコットキャラクター
「水道ぼうや」

宇都宮の水道は大正5年から安全な水道水をお届けし、今年(平成28年3月1日)で100年を迎えました。

1



水道が整備される前の宇都宮市の中心部では、飲用に適する水が少なかったことから、水道整備を求める声が高まりました。

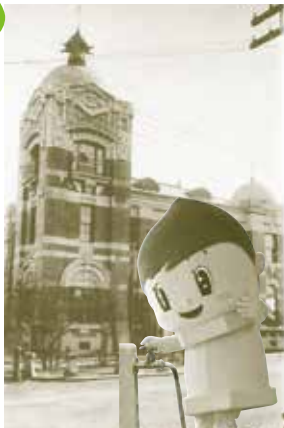
きれいな水が少ないせいで伝染病が発生するなどの問題があったんだ。

今日までの100年のあゆみを振り返っていきよ!



うつの水道

3



給水の開始により、衛生環境など大きく改善し、市民生活の向上につながったと言われています。

きれいな水を簡単に使えるようになったときの感動は未だに忘れられないよ〜。

給水開始の頃の水道庁舎



5

戦後の復興により人口は増え、さらには合併により市域が拡大したことで、水の需要が大きく伸びました。



昭和31年 導水管を敷設する様子



昭和41年 市内に配水管を敷設する様子

水の需要増に合わせて、現在までに6期にわたる拡張事業を進めてきたよ!

7

第5期拡張事業が終了した平成6(1994)年度末には、水道の普及率は約97%に達しました。

ほとんどの市民が水道を使えるようになったんだね!



9



応急給水車

「応急給水拠点」を整備したほか、第6期拡張事業として老朽化した白沢浄水場の全面更新をしています。



災害時も給水できるように「応急給水拠点」を整備したんだ。この車から給水するよ!

年	西暦	できごと
明治11	1878	水道敷設を求める運動
大正元	1912	国から水道敷設の計画
大正5	1916	給水が開始される
昭和20	1945	宇都宮大空襲で水道施設が壊滅。その他、多くの水道施設が被災
昭和24	1949	戦災復興のための下水道敷設。今年市地震により今市地区で水道管が破断
昭和30	1955	第1期拡張事業が完了 ⇒ 山本浄水場・宝井浄水場の増設
昭和36	1961	第2期拡張事業が完了 ⇒ 山本浄水場配水施設の増設
昭和41	1966	第3期拡張事業が完了 ⇒ 白沢浄水場、白沢浄水場配水施設の増設
昭和46	1971	第4期拡張事業が完了 ⇒ 松田新田浄水場の増設
昭和47	1972	旧河内町への給水開始
昭和59	1984	川治ダムの供用が開始。第5期拡張事業が完了 ⇒ 板戸配水場などの増設
昭和60	1985	「水道水のおいしい日」の制定
平成6	1994	第6期拡張事業が完了 ⇒ 松田新田浄水場の増設などの実施
平成13	2001	災害時の「応急給水拠点」の整備
平成16	2004	水道局と下水道部が合併。河原町の現庁舎で水道局の業務を再開
平成17	2005	松田新田浄水場の増設
平成19	2007	市町合併により旧市域の給水区域に編入する
平成20	2008	松田新田浄水場に水質管理室が「水道水のおいしい日」の制定
平成28	2016	水道給水開始から100周年を迎える

上下水道局では、次の100年も安全で安心な水道水をお届けするために、水道施設の老朽化対策や耐震化を進めるとともに、